

No.66  
シリーズ 教育の窓

**自分に自信を！  
ふるさとに  
誇りと愛着を！**

久田見小学校

久田見小学校は、標高520mの高原に位置し、全校児童37名の学校です。小規模校のよさを生かした特色づくりを進め、「自分に自信を、ふるさとに誇りと愛着をもつ子」を目指しています。

**自分に自信を！**

本校では、小規模校のよさを生かし、一人一人に丁寧な指導を心がけています。

その1つとして、「一人一人を見届け、状況に応じた指導」を大切にしています。



困っている子には、思考を促すヒントを示し、できている子には、さらに考えを深めるためのアドバイスをするなどして、一人一人の状況に応じた指導を心がけ、「できた！

わかった！」という自信が持てるようにしています。

下の写真は、全校朝会の子どもの発表の様子です。本校では、

全員が1年間のうちに1回、自分の経験や調べ



たことなどを発表します。低学年は、担任が発表内容や聞く人にわかりやすい発表の仕方を指導します。学年が上がるにつれて、自分で準備したり練習したりできるようになってきます。

さらに、挙手をして感想を言う場をもっています。学級で発言する力を付け、それを全校の場で発揮すること、これから先、どのような集団でも自分の意見が出せるようになって欲しいと考えています。

また、本校では「トランペット隊」が有名です。



毎年、運動会を始めとして、久田見地区運動会、八百津町産業文化祭、八百津町小学校音楽会、ふれあい祭りと、いろいろなところで演奏を行ってきました。ト

ランペット隊は、今年で46年目を迎えます。かつては、6年生だけで編成していましたが、現在は、3年生以上です。マーチングバンドの指導者を招いて、本格的に練習しています。

「自分のパートをやりきり曲を仕上げた満足感・自己有用感」「上級生が下級生に教えていくつながり」「地域の方々が楽しみにしているという期待に応えることの大切さ」「久田見小の伝統を守りたいという思い」など多くのことを学び、自信をつけることにつながっています。

**ふるさとに誇りと愛着を！**

久田見といえは「久田見祭り」です。400年以上の伝統をもつ久田見祭りには、毎年多くの子どもが参加します。祭りの前



には、地域の人たちと太鼓の練習を何度もするなど、子どもたちも祭りの立派な主役となっています。

本校では、「ふるさとを愛し、感謝の気持ちをもつ」ふるさと学習にも力を入れています。地域には、すばらしい教材がたくさんあります。

そして、子どもたちを温かく見守ってくださる人が大勢みえます。「地域の人・もの・こと」を活用した教育活動を進めています。

そのひとつが、「久田見・福地オリエンテーリング」で、毎年5月に行っています。

今年も久田見を舞台に、1〜6年の縦割りグループで12の施設や工場、店を回りました。お世話になっている地域の人たちからお話をお聞きし、体験をさせていただく中で、地域のよさや働く人の工夫について学ぶことができました。また、質問したり話したりすることは、表現力を養うことにもつながっています。

さらに、上級生は、下級生や地域の方がどうしたら喜んでもらえるかといった相手を意識することを大切にしながら、活動に参加しています。



この「久田見・福地オリエンテーリング」によって、子どもたちは、地域のよさを再発見するとともに、地域への愛着と誇りを高めています。